

# 本学の特色ある研究

鹿児島県屋久島のトビウオ漁



20世紀に与論島の漁民たちが屋久島へ移住した。  
彼らは新たな技術を導入してトビウオ漁を開発した。

南知多町篠島のシラス漁



海底を引き回す網をローラーで巻き上げている。機械化された漁法の中にも伝承技術が生きている。

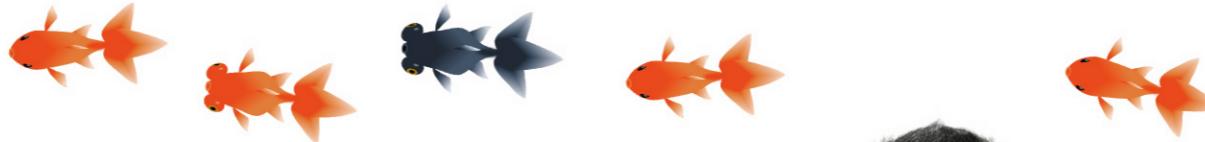
高浜市の吉浜細工人形



胴体の骨組みに紙を貼って、貝殻や竹や木の実などで飾り付けされた等身大の人形。愛知県無形文化財。

## 庶民の暮らしの歴史を探る

伝承技術を通して



現在の私たちの暮らしの中には伝承的なものがたくさんあります。伝承的なものというのは、私たちが生まれる前から受け継がれてきた知識や決まりごと、それらに基づいた行動や生き方のことです。中でも、私は自然を相手にして生きている人たちの伝承技術に関心を持っています。伝承技術を通して、現代の暮らしの歴史や文化の特徴を探ります。



社会科教育講座

専門：民俗学

のじつねあり  
**野地恒有**

教授・博士(文学)

### ● 研究テーマ

民俗学からとらえた現代の海に生きる人たちや  
都市で生活する人たちの歴史や文化



出雲ナンキン



名古屋朝顔



観賞用の菊

出雲ナンキンという金魚、名古屋朝顔、菊は、その成長の過程で人の手が加えられ改造され、天然のままでは現れない理想の姿に育てあげられ、その姿が観賞される。このような改造技術に支えられた觀賞用動植物を飼育栽培する文化は、江戸時代に生まれた。

